

# 四国発信！ダイバーシティ研究環境調和推進プロジェクト キックオフシンポジウム 2018 男性育児・家事推進セミナー アンケート調査結果報告書

- 1) 調査目的 本調査は、キックオフシンポジウム 2018 男性育児・家事推進セミナーにおいて、参加者の属性、セミナーの満足度、ニーズ等を把握し、今後の事業計画等の参考とすることを目的とする。
- 2) 調査対象 キックオフシンポジウム 2018 男性育児・家事推進セミナー参加者全員
- 3) 調査方法 キックオフシンポジウム 2018 男性育児・家事推進セミナー終了後アンケート調査票に記入
- 4) 実施日 2019年1月22日(木)

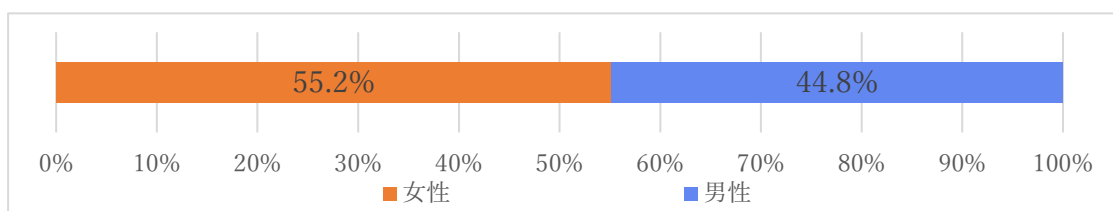
## ■アンケート集計結果

回答数 対象者 188名、回答者 87名  
回答率 46.3%

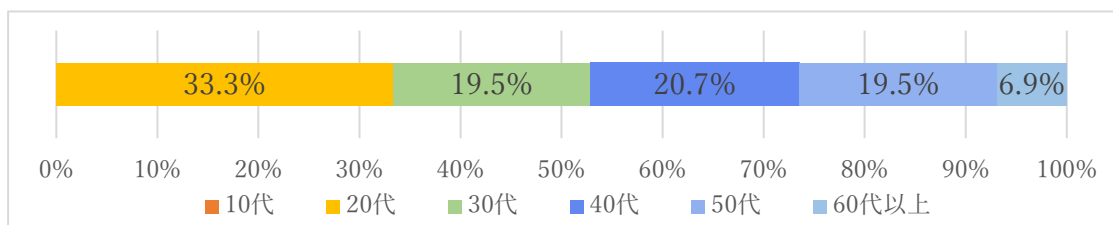
## ■アンケート調査結果

### ○回答者の属性

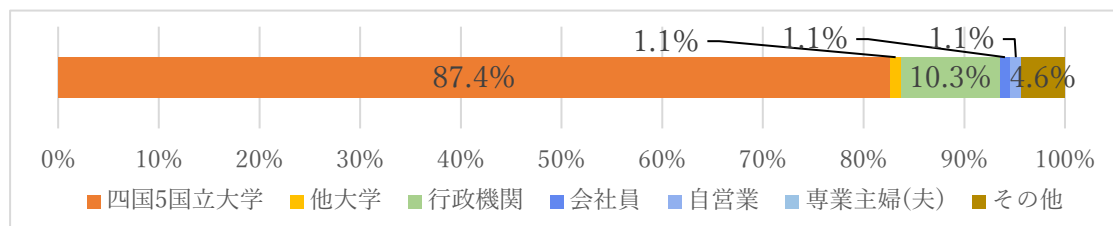
#### ◆性別



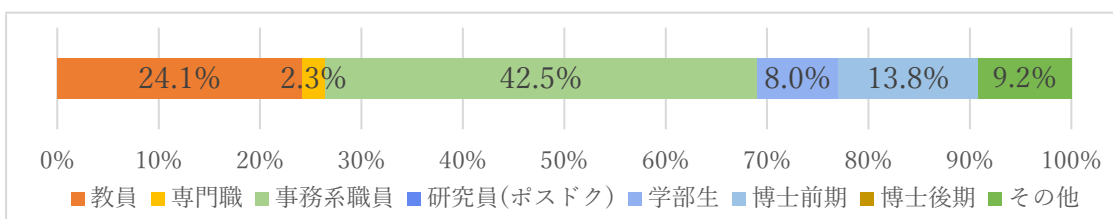
#### ◆年齢



#### ◆所属



#### ◆職種



回答者の性別は、女性が55.2%で男性が44.8%であった。

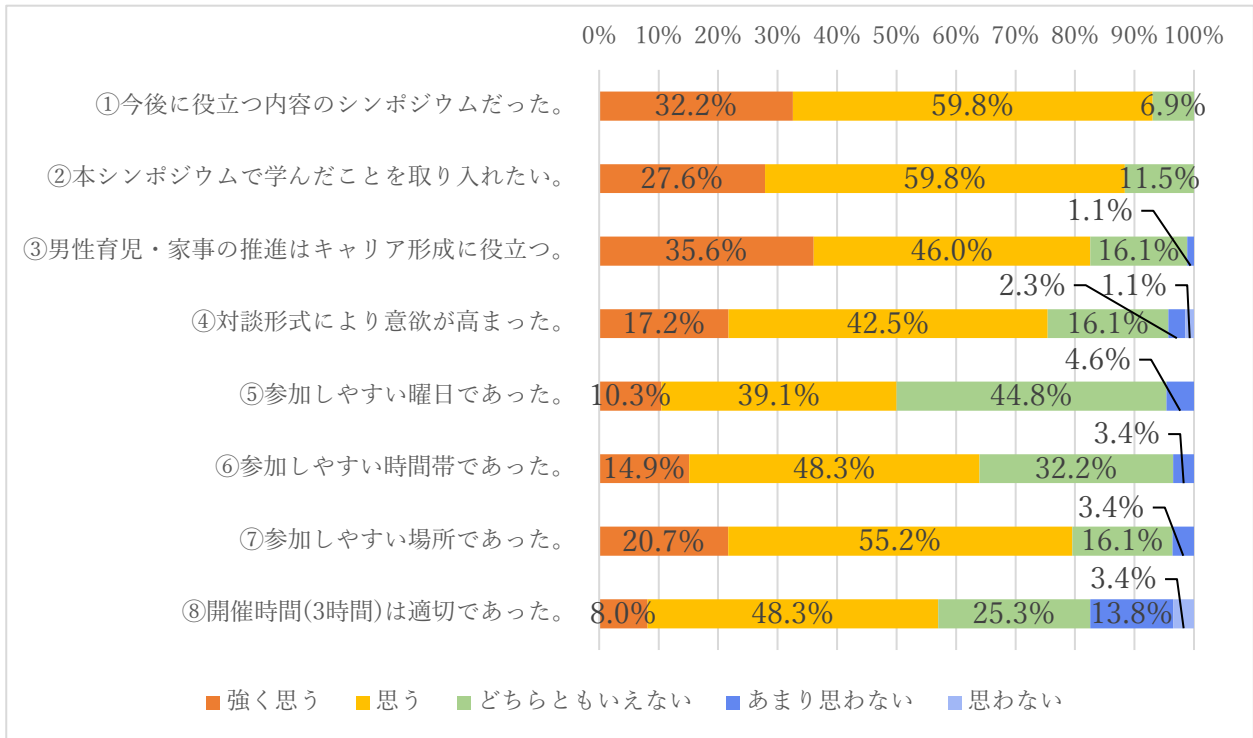
年齢は20代が多く36%で、20代から60代以上まで幅広い年代層の参加があった。

所属は、四国5国立大学が87.4%で、他機関から18.4%の参加があった。

職種は、事務系職員が42.5%と最も多く、次いで教員の参加が24.1%であった。

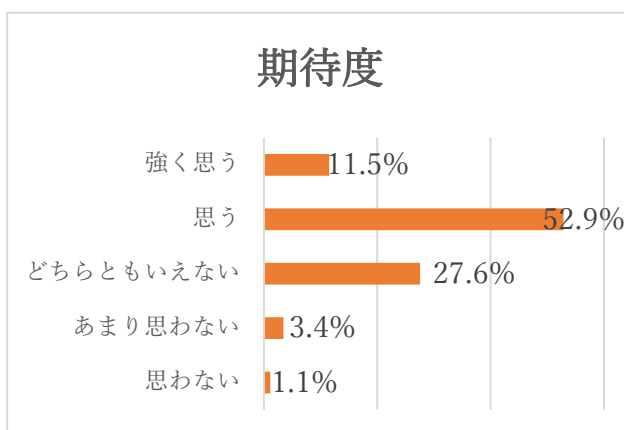
## ○育児の現状

問 以下の質問事項について、該当するものにチェックをいれてください。

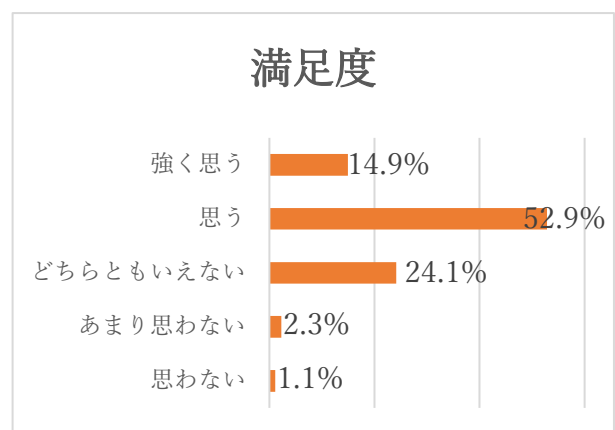


『今後に役立つ内容のシンポジウムだった』に対して、92%が『強く思う』『思う』と回答し、『本シンポジウムで学んだことを取り入れたい』に対して、87.4%が『強く思う』『思う』と回答しており、『男性育児・家事の推進はキャリア形成に役立つ』に対して、81.6%が『強く思う』『そう思う』と回答し、シンポジウムへの評価は高かった。開催形式については、各項目の『参加しやすかった』に対して、『開催曜日』49.4%、『開催時間』63.2%、『開催場所』75.9%が『強く思う』『思う』と回答しており、『開催時間(3時間)は適切であった』に対しても、56.3%が『強く思う』『思う』と回答しており、約半数からは、参加しやすい開催形式と適切な開催時間であったと考えられる。

⑧ 本シンポジウムに期待していた。

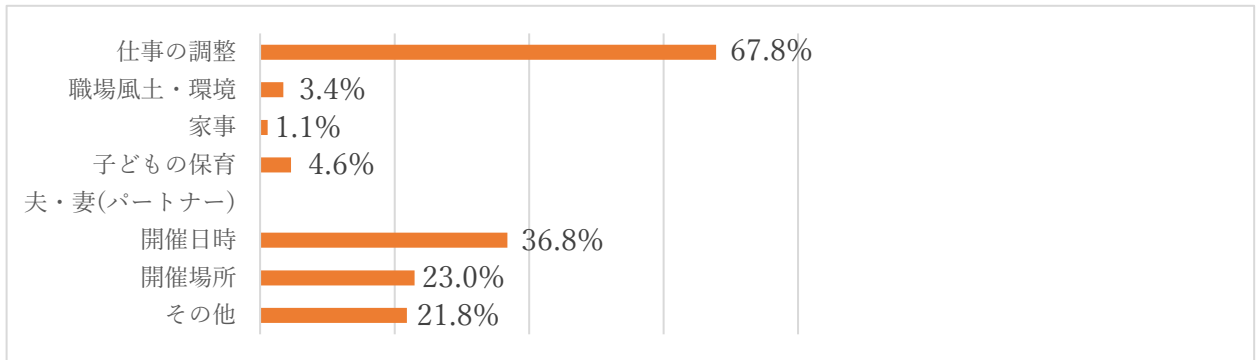


⑨ 本シンポジウムは期待通りであった。



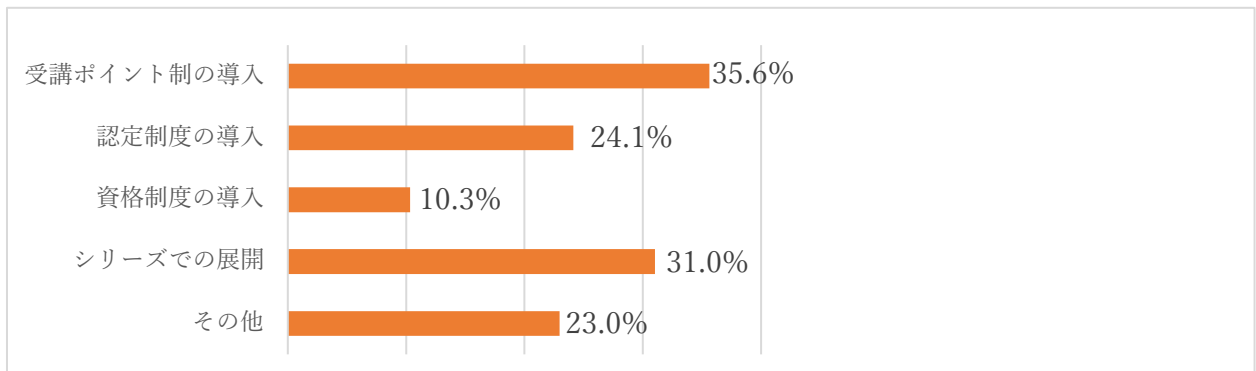
期待度は、『本シンポジウムに期待していた』に対して、64.4%が『強く思う』『思う』と回答しており、満足度は、『本シンポジウムは期待通りであった』に対して、67.8%『強く思う』『思う』と回答している。また、期待度の平均値は3.72点、満足度は3.77点であり、期待度、満足度ともにやや高めだったが、満足度が期待度を超えていなかった。

問 あなたのセミナーへの参加(本講義に限らない)を阻害する要因はありますか。



セミナーへの参加(本講義に限らない)を阻害する要因に対して、仕事の調整が67.8%であり、最も多かった。次いで、開催日時36.8%、開催場所23.0%、その他21.8%であった。

問 シンポジウムまたはセミナーが、キャリア形成の推進に繋がるための工夫として適切と思うものすべてにチェックしてください。



シンポジウムまたはセミナーが、キャリア形成の推進に繋がるための工夫に対して、受講ポイント制の導入が35.6%、次いで、シリーズでの展開が31.0%、認定制度の導入が24.1%であった。チェックの割合が低いですが、今後導入していく必要があるかどうか、検討が必要だと考えられる。